

※ 解答及び配点はイーアカウントが独自に作成したものです。
第 27 回建設業経理士 1 級原価計算 解答速報

※ 解答及び配点はイーアカウントが独自に作成したものです。試験機関による実際の正解・合格を保証したものではありません。ご了承の上ご覧ください。また、解答の著作権は、株式会社 TRADECREATE イーアカウントに帰属します。

〔第 1 問〕 (20 点) 各 10 点 (イーアカウントの予想配点です。)

問 1

ABC とは、製造間接費を出来る限りその発生と関係の深い活動に結び付けて、その活動に集計されたコストを直接的に製品やサービスに賦課する手法である。建設業原価計算では、各工事ごとに工事種類別のデータ把握することを原則としているが、工事種類は活動の種類でもあるから、ABC の発想ということができる。

ただ、工事間接費（現場共通費）の配賦という視点から考えれば、その適用効果は多様である。建設業といってもその規模と業種は様々であるため一概にはいえないが、工事間接費を多く発生させる可能性のある企業にとって、ABC は効果的であるということができる。

問 2

コスト・コントロールの 3 つのプロセスとは、事前、当座、事後のプロセスである。

事前においては、各階層の原価管理者に対し、原価責任を明確にし、達成目標である原価計算を伝達し意欲付けを行う。

当座においては、標準と原価の実際発生額を日常で常に確認し、原価能率を増進する活動を行っていくことになる。

事後においては、標準と原価の実際発生額との差異を原因別に分析し、原価効率を増進する措置をとらせることになる。

〔第 2 問〕 (10 点) 各 2 点 (イーアカウントの予想配点です。)

記号(AまたはB)

1	2	3	4	5
B	A	A	B	B

※ 解答及び配点はイーアカウントが独自に作成したものです。

〔第3問〕 (14点) 各7点 (イーアカウントの予想配点です。)

問1

甲工事現場への当月配賦額

¥

317,835

問2

当月の損料差異

¥

19,465

記号(XまたはY)

X

〔第4問〕 (18点) ○は各3点、その他2点 (イーアカウントの予想配点です。)

問1

甲製品

第1工程月末仕掛品原価

¥

○317,850

第1工程当月完成品原価

¥

1,206,000

乙製品

第1工程月末仕掛品原価

¥

226,800

第1工程当月完成品原価

¥

1,051,200

問2

甲製品

第2工程月末仕掛品原価

¥

412,500

当月完成品原価

¥

1,506,750

乙製品

第2工程月末仕掛品原価

¥

152,700

当月完成品原価

¥

○1,533,600

※ 解答及び配点はイーアカウントが独自に作成したものです。

[第5問] (38点)

問1 24点 (各4点)

完成工事原価報告書	
自 20X1年9月1日	
至 20X1年9月30日	
名古屋建設工業株式会社 (単位：円)	
I . 材料費	3,183,700
II . 労務費	354,100
III . 外注費	1,414,700
IV . 経費	1,178,600
(うち人件費	701,100)
完成工事原価	6,131,100

問2 2点

¥

問3 12点 差異の数値と記号が一致した場合のみ各3点 (イーアカウントの予想配点です。)

①	P 材料消費価格差異	¥	<input type="text" value="2,100"/>	記号 (AまたはB)	<input type="text" value="A"/>
②	運搬車両部門費予算差異	¥	<input type="text" value="9,100"/>	記号 (同上)	<input type="text" value="A"/>
③	運搬車両部門費操業度差異	¥	<input type="text" value="6,900"/>	記号 (同上)	<input type="text" value="B"/>